

市報 やまがた

1999 10/1 NO.1253

OCTOBER
Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

介護保険・要介護認定
申請スタート
(仮称)文化交流プラザ
アンケートから
山口きらら博、市単独館出展





要介護・要支援認定の

申請受付開始

平成12年4月にスタートする介護保険制度。その介護サービスを受けるために必要な申請の受付が始まりました。

●申請が必要な方

申請が必要な方は、65歳以上の方（第1号被保険者）で寝たきり



【表1】第2号被保険者が要介護認定を受けるための前提となる15種類の病気

| | |
|----|---|
| 病名 | ①筋萎縮性側索硬化症②後縦靱帯骨化症③骨折を伴う骨粗鬆症④シャイ・ドレーガー症候群⑤初老期における痴呆⑥脊髄小脳変性症⑦脊柱管狭窄症⑧早老症⑨糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症⑩脳血管疾患⑪パーキンソン病⑫閉塞性動脈硬化症⑬慢性関節リウマチ⑭慢性閉塞性肺疾患⑮両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症 |
|----|---|

や痴呆などで常に介護を必要とする方や家事など日常生活に支援が必要な方、また医療保険に加入している40歳から64歳までの方（第2号被保険者）で初期痴呆、脳血管障害など老化が原因とされる15

種類の病気（表1）により介護・支援が必要な方です。

なお、お年寄りでも元気な方や介護サービスを希望しない方は、申請する必要はありません。

●申請の代理

寝たきりなどで、直接本人が申請できないときは、家族が代わりに申請することができます。

また、県が介護サービスを提供する事業者として指定する居宅介護支援事業者、介護保険施設、社会保険労務士に申請を依頼することもできます。

※1 居宅介護支援事業者：在宅介護支援センター、訪問看護ステーションなど

※2 介護保険施設：特別養護老人ホーム、老人保健施設など

●申請の受付

市では、申請される方の誕生日によって申請月を割り当てていますので、該当する申請月に市介護保険準備室または各地区出張所に備え付けの申請書で申請してください。（表2）

申請は、市介護保険準備室または各地区出張所で受け付けます。事業者の代行申請の場合、市介護保険準備室でのみ受け付けます。

【表2】誕生日ごとの申請受付月

| 申請者の誕生日 | 申請受付月 |
|---------------|----------|
| 1月・2月 | 平成11年10月 |
| 3月・4月 | 平成11年11月 |
| 5月・6月・7月 | 平成11年12月 |
| 8月・9月 | 平成12年1月 |
| 10月・11月・12月 | 平成12年2月 |
| 該当月に申請できなかった方 | 平成12年3月 |

介護サービスを受けるまでの流れ

市職員が家庭等を訪問し、日常生活の動作や心身の状態等85項目について調査します。

訪問調査の項目をコンピューターで判定した結果とかかりつけ医の意見書をもとに、医療、保健、福祉の専門家で構成されている介護認定審査会が介護保険の対象になるのかどうか、どのくらいの介護が必要なのか、申請者の要介護度を審査判定します。

市は審査の結果に基づき、要介護の認定をします。認定は原則として、申請から30日以内に行い、認定結果を本人に通知します。
 非該当の場合、自立となり介護保険サービスは受けられません。
 認定の場合、要支援を含む6段階に分けられます。
 ※要介護認定は、原則として6か月ごとに見直しとなります。

在宅サービスを利用する場合、介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護認定を受けた本人やその家族の希望を尊重しながら、サービス限度額の範囲内でいろいろなサービスを組み合わせる適切な介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。
 なお、作成費は無料で、介護を必要とする本人でも介護サービス計画を作成できます。
 ※施設サービスを利用する場合、介護サービス計画の作成は不要です。

訪問介護（ホームヘルプサービス）、日帰り介護（デイサービス）などの在宅サービスや特別養護老人ホームなどの施設サービスを受けられます。
 サービスを利用する場合、費用の1割が自己負担となります。

申請

訪問調査

審査

要介護認定

在宅サービスを利用する場合
 介護サービス計画の作成

施設サービスを利用する場合

介護サービスの利用

平成12年4月開始

介護保険

65歳以上の保険

料は5段階

【表3】65歳以上の方の段階別保険料（月額）

| | | |
|----|-------------------------------|----------------------|
| 高い | 市民税課税者で合計所得金額が250万円以上の者 | 4,493円 (基準額×1.5) |
| | 市民税課税者で合計所得金額が250万円未満の者 | 3,744円 (基準額×1.25) |
| 所得 | 本人が市民税非課税者 | 2,995円 (基準額) |
| | 世帯全員が市民税非課税者 | 2,246円 (基準額×0.75) |
| 低い | 市民税世帯非課税者で老齢福祉年金受給者および生活保護受給者 | 1,498円 (基準額×0.5) |

市では、これまで2回にわたって65歳以上の方の月額保険料について試算してきました。今回、中間的に取りまとめた介護サービス量をもとに、国の示した算定方式で費用を推計し、月額保険料を試算しました。

この月額保険料は、市民税が非課税となる方に適用する基準額です。月額保険料は、原則として所得に応じた5段階に分けられます。(表3)

今後、月額保険料は介護報酬の単価やサービス量の補正等により変更になる場合があります。最終的な月額保険料は、来年3月の定例市議会で決定されます。

介護サービスの仮単価決定

去る8月23日、介護サービス事業者に支払われる介護報酬の仮単価が公表されました。

在宅サービスの柱となる訪問介護（ホームヘルプ）の報酬は、身体介護で30分以上1時間未満の場合が4,020円、家事援助で1時間以上1時間30分未満の場合が2,220円、

2,200円となります。利用者の自己負担はそれぞれ1割の402円、222円となります。(表4)

この仮単価をもとにした介護サービスの平均利用月額も公表されました。例えば、要介護3に該当する方が保険で利用できる上限額は、27万4,000円となり、自己負担は利用額の1割となります。(表5)

なお、正式な介護報酬の単価は来年の1月ごろに決定される予定です。

【表4】主なサービスの仮単価と自己負担

| | 仮単価 | 自己負担 |
|--------------------------------|--------|------|
| 【訪問介護】（ホームヘルプ） | | |
| 身体介護 | | |
| 30分以上1時間未満 | 4,020円 | 402円 |
| 家事援助 | | |
| 1時間以上1時間半未満 | 2,220円 | 222円 |
| 【通所介護】（デイサービス） （4時間以上6時間未満） | | |
| 特別養護老人ホーム | | |
| 要支援 | 3,910円 | 391円 |
| 要介護1、2 | 4,820円 | 482円 |
| 要介護3、4、5 | 6,430円 | 643円 |

【表5】介護サービスの平均利用月額

【在宅サービス】

| | |
|------|--------|
| 要支援 | 6.4万円 |
| 要介護1 | 17.0万円 |
| 要介護2 | 20.1万円 |
| 要介護3 | 27.4万円 |
| 要介護4 | 31.3万円 |
| 要介護5 | 36.8万円 |

【施設サービス】

| | |
|-----------|--------|
| 特別養護老人ホーム | 32.5万円 |
| 老人保険施設 | 35.4万円 |
| 療養型病床群等 | 43.1万円 |

※食事代等は別途負担があります。

介護保険なんでも相談ダイヤル

0120-296-294

ツクロー！フクシ

受付（土・日・祝日・年末年始を除く）

8:30~17:15

結核

決して過去の病気ではありません！

結核緊急事態宣言が発令

これまで減少を続けてきた新規結核患者数は、平成9年には全国で38年ぶりに増加に転じました。厚生省は、去る7月26日結核緊急事態宣言を発令し、予防と早期治療を呼びかけています。結核は、年間3000人弱が亡くなる病であり、依然として我が国最大の感染症です。

高齢者に多い結核

市内の発生状況は、ほぼ横ばいですが、60歳以上の発病者が約7

割と高くなっています。結核が増加に転じた原因としては、まず、昭和20年前後の結核が蔓延していた頃に感染していた人が高齢者の

仲間入りをしていることがあげられます。これは、歳をとるにつれ、免疫力が低下し、過去に感染した結核が再燃し、発病しやすくなるからです。

次に若い世代で、結核菌に出会わずに、免疫力を持たない人が増加していることがあげられます。

さらに結核の初期症状は、かぜの症状に似ているため、受診が遅れがちになり、重症になって発見される割合が高くなっています。

早期発見・早期治療が大切

結核は結核菌によってうつる病気で、初期の対応が必要です。初期症状は、長引くせきやたん、だるい・疲れやすい、微熱が続くなどです。これらの症状が2週間以上続く場合には、かぜだと思っ

て放置せず、お医者さんの診察を必ず受けましょう。また、症状がなくても年に1回は、職場、学校、市が実施する胸部レントゲン検診を必ず受けるようにしましょう。



巡回胸部レントゲン検診

日頃の予防も忘れずに

結核に感染したり発病しないためには、免疫力をつけることが大切です。

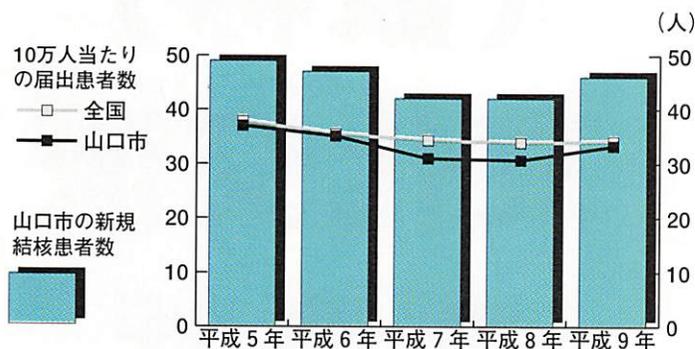
まず、小児期にはツベルクリン反応検査をうけ、BCG接種を受けることが大切です。生後3か月を過ぎたら、早い時期から受けましょう（BCG接種は、未感染者の発病率を抑え、重症化を防ぐためのワクチンです。）

また、日頃から体力を落とさないようにするため、暴飲・暴食を避け規則正しい生活をするとともに、疲れやストレスをためないよう心がけましょう。

*お問い合わせ 市保健センター

(☎ 21-2666)

新規結核患者数と人口10万人当たりの届出患者数（り患率）の推移



新規結核患者の年齢階層別の内訳

(平成9年)

| 年齢階層 | 山口市 | | 山口県 | | 全国 | |
|--------|------|--------|------|--------|--------|--------|
| | 新規患者 | 構成比率 | 新規患者 | 構成比率 | 新規患者 | 構成比率 |
| 0～19歳 | 0 | 0% | 3 | 0.5% | 800 | 1.9% |
| 20～39歳 | 5 | 10.9% | 58 | 9.0% | 7,057 | 16.5% |
| 40～59歳 | 9 | 19.6% | 144 | 22.2% | 11,333 | 26.5% |
| 60歳以上 | 32 | 69.5% | 442 | 68.3% | 23,525 | 55.1% |
| 合計 | 46 | 100.0% | 647 | 100.0% | 42,715 | 100.0% |

(仮称) 文化交流 プラザ

第2回シンポジウムのアンケートから

市は、8月22日、県教育会館ホールで、(仮称)文化交流プラザに関する2回目のシンポジウムを開催しました。会場には約450人の市民の参加をいただき、パネルディスカッションでは熱心な討議が行われました。

シンポジウム終了後行ったアンケートでは、回答のあった152人の内、パネルディスカッションについて「理解できた」「だいたい理解できた」を合わせると67%で3分の2を占めましたが、なお疑問点が残るとされた回答も寄せられました。ここでは、アンケートの中の代表的な疑問点についてお答えします。

プラザで創造される新たな文化とこれを支える技術や感性が、内外の教育・研究機関、他の文化施設、商業や観光などの経済的諸活動とネットワークすることにより、さらに新しい価値観を生み出します。

何をするか決まらないままに計画が進んでいくのでは？

文

文化交流プラザは、平成5年に策定した「やまぐち情報

文化都市づくり基本計画」の中で、「市民等の文化の醸成、生涯学習の推進、文化交流の拠点」という役割を明確にしています。

さらに、平成8年に確定したプラザの基本計画の中で、この施設が扱う内容を「舞台芸術」、「映像」、「情報」および「図書館機能」としており、施設の基本的な内容は確定しています。昨年5月に発表した磯崎氏の基本設計案は、この基本計画に沿って設計されたものです。ただ、この施設が市民に利用しやすい施設であるためには、具体的にどのような利用が考えられるのかさらに時間をかけて検討する必要があります。そのため、ソフト研究会を組織して約1年間にわたり



文化交流プラザは結局何をするといい？

交

流を生み出すところです。(仮称)文化交流プラザは、

市が平成2年から進めている「やまぐち情報文化都市づくり」の拠点施設です。

この「やまぐち情報文化都市づくり」は、「情報」と「文化」をキーワードに山口に「交流」を生み出すことで、市民生活や経済活動を活性化しようとする事業です。

文化交流プラザは、交流を生み出すまちづくりの装置ということができます。ここでは、次のようなことが行われます。

◆文化の創造

交流を生み出すには魅力的な文化の創造と情報発信が必要です。市民と芸術家などの表現活動を行っている人たちが集い、魅力的で情報発信力の高い文化を創造します。

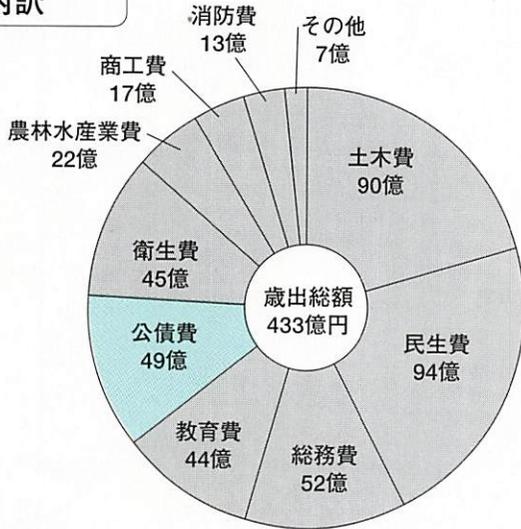
◆生涯学習

市民が質の高い舞台芸術や映像などの芸術作品に触れたり自ら創作したりするとともに、気軽にマルチメディア関連の器械や技術に触れることで、豊かで潤いのある市民生活を応援し、新しい価値観や個性を大切にする心豊かな人づくりを行います。

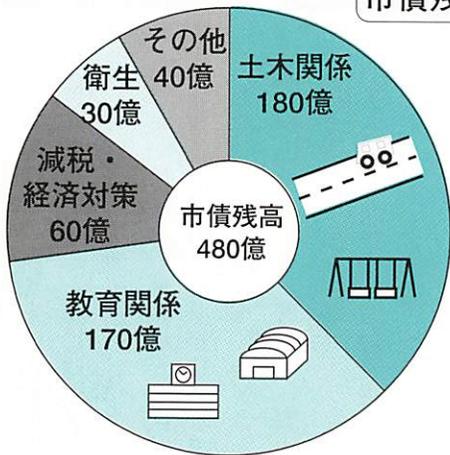
◆ネットワーク

山口市の財政状況

平成11年度歳出
予算の内訳



平成10年度末の
市債残高の内訳



事業展開の可能性を検討してきました。そして、今年5月の基本設計の見直し案はこのソフト研究会の報告にしたがって作成されたものです。

したがって、プラザで何をやるのかは、プラザの基本計画およびソフト研究会の報告書に沿うものとなります。今後は、さらに具体的な利用のしかたや事業の可能性をソフト研究会や市民の自由な懇談会であるアーツカフェで検討し、実施設計並びに運営計画に生かしていきます。

プラザを建設して山口市の財政は大丈夫？

平 成11年度の山口市の一般会計予算は約433億円です。このうち約49億円が公債費つまりローンの返済に当てられます。この49億円の元となる借金の総額すなわち市債残高は平成11年3月末で約480億円（一般会計）です。

内訳は、道路、河川、公園の整備など土木関係が180億円、学校、西京スタジアム、やまぐちリフレッシュパークの整備など教育

関係が170億円、減税その他の経済対策が60億円、リサイクルプラザの整備など衛生関係が30億円、その他が40億円です。

（仮称）文化交流プラザの建設費70億円の内63億円は地域総合整備事業債といういわゆる借入金でまかなうこととなります。この借金の返済については、仮に、利率を2・5パーセント、20年の元金均等払いとすると、単年の支払いの最高額は約5・5億円、単純平均では年約3・6億円です。これは、平成11年度予算の1パーセント弱

に当たりますが、このうち約2分の1が国から還りますので、実質的な市の負担は0・5パーセント程度ということになります。

また、プラザの管理運営費については、今のところ約4億円から5億円を見込んでいます。

山口市では、財政運営の効率化を図るため、平成9年11月に「山口市財政運営健全化計画」を策定するとともに、中期財政計画を試算しています。この中期財政計画は、平成15年までの財政状況を示したのですが、試算時以降の経済情勢等の変化から、今年8月に試算の見直しを行いました。

このたび見直した試算では、歳入歳出の収支の均衡が保たれる見込みとなっています。プラザの建設費、管理運営費も含めて試算していますので、プラザを建設しても、財政の見直しとしては問題ないと考えています。

しかしながら、これらの支出がまったく負担にならないわけではありません。それでも事業を推進するのは、山口市が都市間競争に生き残り、将来に向けて発展するために、計画的に進めてきた事業であり、重要な行政課題と認識しているからです。

きらら博へ山口市単独館を出展

テーマは“輝く、時の回廊”



山口きららバンド



ダイナミックでファンタスティックな“きらら博”（夜のイメージ）

2001年7月14日～9月30日に阿知須町の阿知須干拓地で開催される山口きらら博には、200万人以上の来場が予想されます。

市では、この博覧会を全国への情報発信、山口市をPRする絶好の機会、さらには市民の皆さんが地域の魅力を再発見し、郷土に「愛着」や「誇り」を感じ、一緒にまちづくりを考えていく機会ととらえ、山口市単独館（パビリオン）を出展することとしました。

山口市単独パビリオンの概要

パビリオン山口市館では、「輝く、時の回廊～過去から未来へと続く、山口の潮流を見つめて～」をテーマに、過去から現在、未来へと時代を超えた山口の魅力を演出することにより、ご覧いただく方々に、心に残る感動を提供したいと考えています。

特に市民の皆さんには、山口市の魅力を再発見、再認識していただくことで、「山口市に住んで良かった」「これからも住み続けたい」、また、県外の方々には、山口市が持つ魅力を感じていただくことで、「山口市を訪れてみたい」「住んでみたい」と思っていたただけるパビリオンを目指していきたいと考え

ています。

このパビリオンは、博覧会会場のやまぐちゾーンに出展し、面積約500平方メートルを想定しています。具体的なデザインや内容、運営等については、今年度中に基本計画を作成し、2001年6月の完成を目指します。

市町村の日、市町村館の出展にも参加します

期間中、県内56市町村に、それぞれ市町村の日として各1日が割り当てられます。山口市では独自企画により、地域の魅力を県内外にむけてアピールします。

また、やまぐちゾーンに市町村館が出展されます。ここでは、県内8広域圏が企画・運営する広域ゾーンと共通ゾーンで構成され、広域の特色を生かした展示がされる予定です。山口市も、防府市、徳地町、秋穂町、小郡町、美東町、秋芳町および阿東町の2市6町での出展を予定しています。

今後の取り組みとして、ボランティア参加やイベント参加など、市民参加支援体制の確立、花いっぱい運動やホスピタリティ、前売入場券の販売促進など、全市を挙げての機運の醸成をはかります。

第42回山口市美術展覧会

市美展の表彰式が9月11日、クリエイティブ・スペース赤れんがで行われました。今回の応募総数は218点で、147点が入選となりました。

審査員

石村周寶／緒方一美／下瀬武雄／武田雅行／安間寛行／大和保男（50音順・敬称略）

◀大賞 〔洋画〕 そのとき



野崎誠さん
（32・吉敷）

市美展には3度目の出品です。これは、制作日数1か月半、S100号（162×162cm）の作品です。昨年は奨励賞をいただいたので、今年は大賞をねらっていましたが、不案内はあったのですが、認めていただいて大変うれしいです。



▶準大賞 〔書〕

凍った沙原

柳井映潤さん

（52・宮野上）

以前、4～5回出品したことがあります。賞をいただいたのは初めてです。書道を始めたのは25年ほど前で、現在自宅で書道塾を開いています。制作過程での葛藤や苦しさもありますが、作品ができたときの喜びが書の魅力だと思います。この度の受賞は、思いがけないことで感激です。



▲赤れんが賞〔写真〕

水の彩り



藤井善衛さん（76・野田）

写真をはじめたのは、2年ほど前で、栗林和彦氏の写真の講座に参加したのがきっかけです。これからも、体調に留意しながら、自然景観を中心に撮り続けていきたいです。

▶赤れんが賞 〔工芸〕

氷炎

粟屋芳信さん

（70・水の上町）



工芸は、自分が狙った形や線が出来る喜びと、焼き始める前に炎に祈る一瞬の緊張感が何とも言えません。

作り上げたものにはそれぞれの思い出があり、地球上でただ一つのオリジナル作品であり、なぜか分身のような愛着を感じます。



〔総評〕審査員代表 武田雅行氏
スペースの関係上、どうしても落選を選ばなければなりません。もう少し会場が広げればとの差はないように思います。もう少し会場が広げればと残念でなりません。欲をいえば、一歩ふみこんだ作品が、欲しかったと思えました。

奨励賞受賞者（敬称略）

- 〔日本画〕前田淑子（平井） 三好利郎（下小鯖）
- 〔洋画〕野村美子（大内矢田） 小野信江（宮野上）
- 光永頼貞（平井） 三村邦武（白石二）
- 〔彫刻〕水野邦子（富田原町）
- 〔工芸〕角屋敏子（中園町） 野田千恵子（大市町）
- 長廣裕夫（名田島） 岡崎正（吉敷）
- 〔書〕岡本絢子（陶）
- 〔写真〕永田寿子（吉敷） 岡崎美智子（宮野上）
- 野口孝（古熊一）

道の駅「仁保の郷」 建設省に登録

仁保地区に建設中の道の駅「仁保の郷」が、このたび建設省に登録され、9月22日、佐内市長が建設省中国地方建設局長から、登録証の伝達を受けました。

今回、中国地方建設局管内で新たに道の駅として登録されたのは道の駅「仁保の郷」と道の駅「奥津温泉」（岡山県苫田郡奥津町）の2駅で、これにより、道の駅は全国で551駅、中国地方で57駅が登録されたことになりました。



建設中の道の駅「仁保の郷」

また、「仁保の郷」という名称は、登録申請に先立ち、地元の人保地区で募集を行い、184件の応募の中から仁保中郷の数田恵里さんの作品が選ばれたものです。

道の駅「仁保の郷」は、仁保中郷の国道376号沿いに整備されるもので、地域特産物販売促進センターと駐車場から構成されています。地域特産物販売促進センターは、鉄筋コンクリート造+鉄骨造2階建て、延べ床面積1128平方メートル。レストランや農産物直売施設、特産品加工施設、休憩情報コーナーなどが設けられるほか、朝市広場、約2000平方メートルの多目的デッキなども整備されます。駐車場は大型5台、小型77台、身障者用3台が駐車できるようになっていきます。事業費は約8億4000万円です。オープンは平成12年秋の予定です。この道の駅「仁保の郷」は、中山間地域振興の核施設として、情報発信・交流の拠点となることで、期待されています。

70周年

ゴミ焼却は、平成10年に大内に完成した、中部クリーンセンターで行われています。今回は、ごみの収集の沿革を紹介し、焼却の沿革を紹介し、

昭和6年度に樺野川堤防官有地に焼却炉を設置したのが、最初のごみ焼却施設です。当初は1日8時間約5トンの焼却能力でした。

この頃は、焼却・土に埋める・たい肥化等の自家処理が困難な場合に、各家庭でゴミ箱を設置し、主に馬車で回収していたようです。

ごみの効率的な処理は常に課題でした。昭和15年の山口市公報には、台所から出る生ごみを分別収集し養豚業者に買い取ってもらう事例が紹介されています。飼料となる物は活用する等ごみ減量への協力を呼びかけています。

昭和29年には旧市内が、特別清掃地域に指定されています。自分で処理できる物は、自ら処理することが原則で、処理困難な場合は、計画に基づいて収集処分をいたしました。手数料を納め収集を利用する家庭は、旧市内の約3割だったようです。

昭和40年には焼却量の増大から、大歳に1日8時間で約30トン



樺野川付近にあった最初のごみ焼却場

を処理する近代的な施設が完成。市街地を中心に本格的な収集が始まりました。手数料はゴミ箱1個につき月50円でした。

その後、市民から収集の要望が高まり、年々増加するごみを効率的に処理するため、小郡町・秋穂町と山口衛生施設組合（現在は阿東町が加わり山口県中部環境施設組合）を設立。大内に処理能力120トンの新型炉を昭和49年設置。ステーション方式を導入し市内全域の収集を開始しました。

近年は、環境問題が重要視され、平成3年、減量推進室を設置。廃棄物の資源化・減量に取り組んでいます。平成9年には、リサイクル活動の発信地となる山口市リサイクルプラザを供用開始。来年1月からは、古紙・ペットボトルのリサイクルが開始されます。



山口市の地名の由来 あれこれ (大殿地区)

せんとうしょうじ 銭湯小路

町内にお風呂屋があったことから名付けられた。

くほしょうじ 久保小路

一の坂川にいたる一帯が窪地であったためだといわれている。

あいのしょうじ 相物小路

魚物小路ともいったらしい。相物とは、干魚・塩魚の呼び名で、それを売る店が連なった町であったらしく、明治時代までその面影が残っていた。

たてこうじ 塹小路

大内時代のメインストリートともいうべき通りで、たてに伸びることから生まれた地名。

うしろがわら 後河原

大内氏館を中心として、町の後ろの河原に開けたという地理的な命名。

たちうり 太刀売

京都にある立売の地名を移したのと思われるが、中世に立売市が開かれたといわれる。

-参考文献-

郷土読本「ふるさと山口」

ご覧ください 山口市の 広報番組

山口市の「今」
をお伝えする
番組です

山口のんた情報

山口ケーブルテレビで毎日午前8時20分、午後1時20分、午後6時、午後10時35分から「ほうふほっとライン」「小郡あのねのね」と3交代で20分放送(時間は日により変わります)

わたしたちのまち山口

毎週日曜日、午前11時40分からテレビ山口で放送。

やまぐちしま専科

毎週水曜日、午後5時30分頃から山口朝日放送の「5時からワイド」の1コーナーで放送。

シティ・インフォメーション

毎週月・金曜日の午前9時26分からFM山口で放送。

やまぐちマイタウン

毎週木曜日、午後1時40分から山口放送ラジオの「わくわくワイドひろらじ」の1コーナーで放送

文化交流プラザ関連番組の ビデオを貸し出します

- メディア新時代(30分)
 - シンポジウム「(仮称)文化交流プラザの可能性を考える」(60分)
 - 「(仮称)文化交流プラザシンポジウム」(90分)
- 問い合わせ 市広報広聴課(☎34-2753)



保険料の 納付について

Q 毎月保険料を銀行に納めに行くのですが、忙しくて納め忘れることがあります。何か良い方法がありませんか?

A 口座振替が便利です。口座振替はわざわざ納めに行かずに済み、納め忘れがなく安心です。手続きも簡単ですので、預金通帳、通帳印を持参の上、口座のある金融機関または郵便局の窓口へお届けください。

Q 自営業で、国民年金に加入していますが、営業不振で保険料を納めることができません。どうしたら良いですか?

A 国民年金は、20歳から60歳になるまで、保険料を納めることになっています。しかし、失業や営業不振、病気やけがなどで、経済的に納付が困難な方には、保険料の免除制度があります。免除が承認された期間の3分の1は、納付済期間として扱われます。また、将来満額の老齢基礎年金を受けるために、10年以内なら追納することができます。

○問い合わせ 市保険年金課(☎34-2802)

カメラさんぽ



市民体育大会で心地よい汗

県陸上競技場やまぐちリフレッシュパークを会場に、市制70周年記念第36回山口市民体育大会が開かれました。各地区から多くの市民が参加し、さまざまな競技で心地よい汗を流していました。(9月5日)



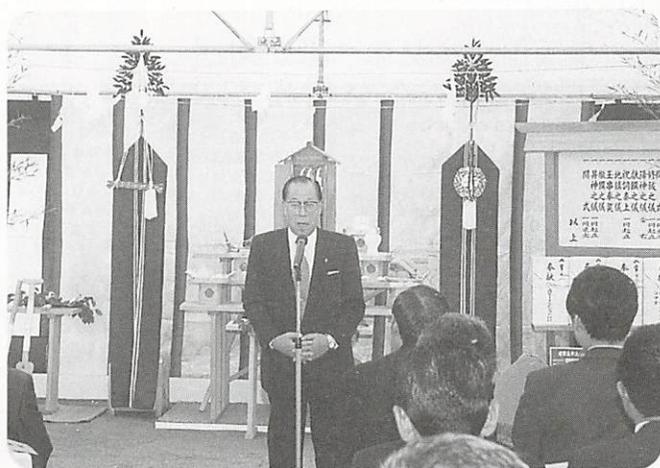
「救急の日」消防総合応用訓練

「救急の日」にあわせ、大内長野の中央消防署東出張所で消防総合訓練や1日救急隊長の委嘱が行われました。訓練は、高層ビルでガス爆発が発生したとの想定で行われ、本番さながらの懸命な救出・消火活動が繰り広げられました。(9月9日)



100歳以上到達者に記念品を贈呈

今年度、100歳以上に到達される30人の方にこのたび市からお祝い状と記念品を贈呈しました。100歳を迎えられる永久ヨシエさんのお宅には佐内市長が訪問し、長寿を祝いました。(9月1日)



山口ケーブルビジョン放送センター起工

山口ケーブルビジョン株式会社が、中園町の「やまぐち情報都市計画区域」内に放送センター施設を建設することになり、起工式が行われました。平成12年3月完成予定で、インターネットなどケーブルテレビの双方向機能を生かした各種サービスを提供し、情報文化都市づくりに貢献するものとして期待されています。(9月8日・祝辞を述べる佐内市長)

- Q. 固定資産の評価替えとは何ですか。
- A. 固定資産税は、固定資産の価格、いわば「適正な時価」を課税標準として課税されるものです。しかし膨大な量の土地、家屋を毎年見直すことは、実務的に不可能であることから、原則として3年ごとに評価額を見直す制度がとられています。よって評価替えとは、この間の資産価格の変動に対応し、評価額を適正な均衡のとれた価格に見直す作業のことです。
- Q. 評価替えで3年間評価額が据え置かれるのに、固定資産税が毎年上がるのはなぜですか。
- A. 評価替えは3年に一度ですが、評価替えで価格(評価額)が上がった場合、評価額をもとに課税すると税負担が急に増加する場合があります。その急激な負担増を緩和するため、前年度の税負担を基礎として、段階的に本来の負担額に近づけていく負担調整措置が適用されていることが多いので、毎年固定資産税が上がります。



固定資産の評価替え



—山口の秋の風物詩となつてい
る「アートふる山口」ですが、
どういったきっかけで始まった
んでしょうか？

福岡県に白壁の街並みがある美しい
吉井町というところがあるんです
が、その町で家々の「お宝」を軒
先に展示したり、手作りお菓子を
出したりする、ほのぼのとした催
しがあるんです。それを参考にし

て、山口でも豎小路、大殿大路の
素晴らしい街並みを生かし、それ
を未来に残していくイベントを始
めようということで青年会議所の
メンバーを中心にスタートしまし
た。

—来場者の方々の反応はいかが
ですか。

このイベントを通して、みなさ
んに豎小路筋、後河原周辺の素晴
らしい歴史、文化や住んでいる町
の良さを知って欲しいと思ってい
るんですが、回を重ねるごとに、
地元の人はもちろん、特に若い人
たちが自分たちの住んでいる「ま
ち」を再発見しようという意識が
出てきて、積極的に参加している

ような気がします。特に中高生が
増えてきたことはうれしいですね。
「アートふる山口」は、若者の好き
な派手なイベントではなく、どち
らかといえれば地味なイベントとい
えると思いますが、年々若い人が
増えているということは、あの地
域のほのぼのとした雰囲気と共に
してくれているのではないかとう
れしく思っています。

—豎小路近辺に思い入れがあ
りそうですね。

私は、子どもの頃、一の坂川で
よく泳いだりしていたこともあつ
て、あの川筋がとても好きなん
です。桜、ツツジ、ホテルなど四季
折々に風情があつてとてもいい雰
囲気だと思います。今でもよくあ
たりを散歩するんですよ。

あのあたりのような、ほのぼの
とした温かい人情味のあるところ
は、最近では失われつつあるよう
に思うんですが、そういった部分
を今の若い人たちにつなげていき
たいとも思っています。

また、山口のまちも、全国どこ
に行ってもあるような街並みにす
るのではなく、そこにしかない、
ほのぼのとした人情味のあるよう
なまちであつて欲しいと思ってい
ます。



来村正志さん

第4回アートふる山口実行委員長。美祢市出身。県庁勤務のかたわら、アートふる山口には第1回から参加。また、山口新能の立ち上げに尽力されるなど、地域の魅力を掘り起こす事に積極的に関わりを持つ。

平成10年4月から秋吉台国際芸術村の村長をつとめる。



中国済南市
最新ニュース

友好都市中国済南市からニュー
スが届けましたので紹介します。

・9月26日、済南市中心部に北京
の天安門広場に次ぐ、中国で2番
目に大きな広場「泉城広場」がオ
ープンしました。地下名店街と山
東名人彫塑回廊、科学展覧館、休
憩地からなっています。

・9月26日、中国最大のサファリ
パーク「済南野生動物園」が開園
しました。アフリカ13カ国から数
百頭の野生動物を輸入しました。
これから有名な観光スポットとな
るでしょう。

・1999年9月9日は9（発音
「久」）の連発で、中国では縁起の
良い数字とされ、全国で多数の結
婚式がとり行われました。



情報提供は済南市人
民政府の王勇（ワン
ユン）さんでした

お知らせ

山口市ごみ集積施設整備補助金交付要綱を一部改正します

平成7年度から、集積場所の美化および収集の効率化を図るため、収納容器、収納施設を整備する町内会等に対し補助をしておりましたが、このたび、ごみ散乱防止用ネット等も補助対象といたしましたので、ご利用ください。

- ◇ 収納容器 要した経費の2分の1の額（4万円を限度とする）
- ◇ 収納施設 要した経費の2分の1の額（50万円を限度とする）
- * 今回の改正で追加したもの
- ◇ 散乱防止用品 要した経費の2

求むる乗車券の回数乗車券の取り扱いについて

な乗車のごり、そのよ、使用回数、払い戻しをさせていただきます。

- ◇ 払戻場所
 - ・ 防長交通株式会社 山口営業所 湯田温泉案内所 小郡駅案内所 (払戻期限：平成12年3月31日)
 - ・ 市行政推進課 (払戻期限：平成12年5月31日)
- ※ 市役所で払い戻しを受けられる場合は、印鑑が必要です。
- ◇ 問い合わせ 市行政推進課 (☎34-2729)

分の1の額（2万円を限度とする）とし、補助対象を今年4月に購入したものとします。

- ◇ 問い合わせ 市清掃事務所 (☎27-1770)

赤い羽根共同募金 チャリティー 出場者募集

【第5回赤い羽根共同募金 チャリティーゴルフ大会】

- ◇ 日時 10月13日（水）午前8時から
- ※ 雨天決行
- ◇ 場所 山口ゴルフ&カントリー倶楽部 山口泉水原ゴルフ場（仁保）
- ◇ 費用 会費5000円/プレー代7400円（食堂・売店等の利用は各自負担）
- ◇ 申し込み期限 10月6日（水）

【第4回赤い羽根共同募金 歌の祭典】

- ◇ 日時 12月12日（日）午前11時開演

- ◇ 場所 市民会館大ホール
- ◇ 内容 カラオケ、アトラクション「美川憲一そっくりショー」

- ◇ 定員 一般の部：30人以内/職場対抗（5組）：3人1組で女性1人を含むこと
- ◇ 参加料 出場者1人につき協賛券（1枚1000円）を10枚購入してください（協賛金は共同募金に充当します）

- ◇ 申し込み期限 10月29日（金）
- ◇ どちらでも申し込みは、山口県共同募金会山口支会（市社会福祉協議会内 ☎24-0543）へ
- ※ 賞品・参加賞があります。

平成11年度秋季日本犬保存会山口支部展覧会

約200頭の日本犬が型別に優劣を競う競技のほか、日本犬の飼育無料相談所、野菜類などの即売コーナーなどがあります。

- ◇ 日時 10月10日（日）午前9時～午後2時30分
- ◇ 場所 旧山口県消防学校跡跡広場（国際交流会館前・吉敷）
- ◇ 問い合わせ 峯重さん (☎25-2809)

山口県最低賃金が改正されました

山口県で働くすべての人に適用される最低賃金が次のように改正されました。

- ・ 1日 5014円
- ・ 1時間 627円

使用者は、この最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできませんので、注意が必要です。

- ◇ 問い合わせ 山口労働基準局 (☎22-1144) または最寄りの労働基準監督署へ

ふるさとバスツアー 参加者募集

- ◇ 日時 11月7日（日）午前8時30分～午後4時

- ◇ 集合場所 山口農林事務所

◇ 内容 山口農林事務所管内の農業関連施設見学、イベント参加を含む

- ◇ 参加費 1500円（昼食代を含む）

- ◇ 募集人員 45人（申込者多数の場合抽選）

- ◇ 申し込み 10月20日（水）まで
- にはがき（住所、氏名、年齢、電話番号を記入）で山口農林事務所企画振興室（〒753-0064 神田町6-10 ☎22-5291）へ

臓器移植フォーラム

◇日時 10月16日(土) 午後1時30分～3時30分

◇場所 県立図書館レクチャールーム(後河原150-1)

◇内容 (社)日本臓器移植ネットワークからの報告、移植体験発表、記念講演「臓器移植今・昔」医療・福祉ジャーナリスト 松村満美子氏

◇入場料 無料

◇申し込み 10月8日(金)までに(財)やまぐち角膜・腎臓等複合バンク事務局(☎0120-12-1110)へ

グローバル山口ふれあいフェスタ 参加者募集

◇日時 10月17日(日) 午前11時～午後4時

◇場所 県維新百年記念公園スポーツ文化センター(吉敷)

平成11年度交通安全ポスター入賞者名簿

市内各小学校5年生を対象に交通安全をテーマにした作品を募集したところ、597点の応募がありました。そのうち下記の13人が入賞・入選されました。

(敬称略)

| | | |
|--------|--------|-------|
| 金賞 | 湯田小学校 | 西村 英実 |
| 銀賞 | 湯田小学校 | 金山 成美 |
| 銅賞 | 大内南小学校 | 阿武 雅貴 |
| 佳作 | 大内小学校 | 田中 咲穂 |
| | 大内小学校 | 林 由里子 |
| | 大内小学校 | 吉岡 雅史 |
| | 大内南小学校 | 木村 恭子 |
| | 宮野小学校 | 中田 葵 |
| | 宮野小学校 | 森田なおみ |
| | 大殿小学校 | 瀬光真莉子 |
| | 良城小学校 | 山田 綾子 |
| | 鑄銭司小学校 | 山本 翔太 |
| 名田島小学校 | 赤松 美緒 | |

◇内容 留学生等との交流運動会や文化交流体験

◇申し込み 10月8日(金)までに(財)山口県国際交流協会(☎25-7353)へ

女性の学習活動相談員養成講座 受講者募集

◇日時 10月23日～11月13日までの毎週土曜日 午後1時30分～4時(全4回)

◇場所 山口県婦人教育文化会館
◇対象 ジェンダーに関心のある人 30人程度

◇参加費 1050円(資料代等)
◇申し込み 10月16日(土)までに往復はがき(往信欄に講座名、住所、氏名、年齢、職業の有無、電話番号、返信欄に住所、氏名を記入)でカリエンテ山口 山口県婦人教育文化会館(〒753-0056湯田温泉五丁目1-1 ☎22-2792)へ



今年で45周年を迎える山口鷺流狂言保存会。保存会の活動内容などについて、指導者であり技術保持者である小林栄治さんにお話をうかがいました。

―会が発足したきっかけは。

山口の鷺流狂言は、中西治郎さんと河野晴臣さんにより伝承されてきました。しかし、人数が少ないこと、なくしてしまうのもつたいない等の理由で、藤沢卯三郎さんと私(小林さん)が加わって活動を始めたのです。当時、中央公民館で活動していましたが、館長の伊藤理基さんをはじめ、さまざまな方の協力を得てここまでこれたと思います。

―どんな活動をされているのですか。

年に1回の定期公演等の発表会に向け、まず演じる曲目を決め、公演に間に合うよう練習します。(写真)



山口鷺流狂言保存会

昭和29年3月発足。現在、15歳～74歳の会員が20名。練習は、週1回(毎週土曜日午後6時～9時)。技術保持者・小林栄治さんを中心に伝統の灯を守り続けています。問い合わせは、市文化課(☎20-4111)へ。

学校 de グルメ

お好み揚げ

大人も子どもも忙しい毎日を送っている現代、間食や外食が増え、食生活もくずれがちになっていきます。その中で、特に野菜は意識して食べないと不足してしまいます。野菜には体の調子を整えるビタミン、カルシウム、鉄などのミネラル、食物繊維などが豊富に含まれていて、

生活習慣病の予防や食品添加物を体外に出すなどすばらしい働きがあります。学校給食でもいかに子どもたちに喜んで野菜を食べさせるかということが課題です。今回紹介するお好み揚げは、いろんな野菜をいっしょに混ぜて、一つ一つ丁寧に揚げてつくりました。手づくりなので形や大きさが色々ですが、野菜のおいしさが出て、子どもたちは喜んで食べてくれました。家庭でも手近な野菜でつくってみてはいかがでしょうか。

二島小学校栄養士

安光 洋子



お好み揚げ

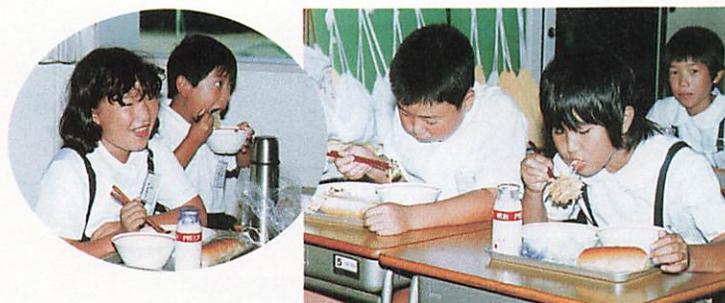
エネルギー211kcal たんぱく質4.2g
(1人分)

材料(4人分)

| | |
|--------|-----------|
| ベーコン | 40g |
| じゃがいも | 60g |
| キャベツ | 40g |
| ごぼう | 20g |
| にんじん | 10g |
| コーン | 20g |
| ねぎ | 10g |
| A 小麦粉 | 3/4カップ |
| 鶏卵 | 1/2個 |
| コンソメ | 少々(お湯でとく) |
| 水 | 適量 |
| 揚げ油 | 適量 |
| 青さ | 少々 |
| お好みソース | 少々 |

作り方

- ①ベーコンは千切りにする。
- ②じゃがいも、ごぼうは短冊切りにし、よく水にさらす。キャベツ、にんじんは千切り、ねぎは小口切りにする。
- ③材料Aで天ぷら衣を作り、①②とコーンを混ぜて、適当な大きさにして揚げる。
- ④お好みソース、青さをふって食べる。



さくさくしてておいしいよ。

[二島小学校1年1組(写真左)・4年1組のみなさん]

編集後記

▽スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、さて今年は何？(Y)▽暑かったり寒かったり。これじゃあかぜもひくはず...(T)▽きらら博、家も近いけど、だんだん身近になってくる(ブ)▽出稿が終わった今、あとは庁舎屋上から叫ぶのみ？(O)▽季節はずれの台風襲来。お願いだから取材の日だけは来ないでくれえ！(ふ)▽このごろ恐いもの 地震 台風 火事 締め切り(ノ)

表紙写真説明

9月3日、市民会館大ホールで第33回山口市健康増進老人福祉大会が開催されました。当日は、市の老人福祉事業に功績のあった方々が表彰され、花束が贈呈されました。また、午後からは演芸大会が行われました。

